大分県の地域医療

～ 活動報告：揺り籠から墓場まで診れる医師を目指して ～

自治医科大学　37期
玉井　資

自己紹介

大分県37期の玉井　資（たまい　たすく）と申します。
令和2年4月で卒業して7年目になります。

今回は、大分県の地域医療の現状や、
勤務地である豊後大野市民病院での
医療について、最期に私の目指す
医師像について、ご説明いたします。

略歴

2008年　自治医科大学入学、バスケットボール部に所属
2014年　卒業

＜大分県での勤務地＞

★ 2014-2016
大分県立病院　初期臨床研修

★ 2016-2017
杵築市立山香病院　総合診療科

★ 2017-2018
豊後大野市民病院
総合診療科&小児科

★ 2018-2020
大分大学医学部附属病院
小児科

★ 2020-2021
豊後大野市民病院
小児科&総合診療

育休取得のススメ

～育休は『休み』ではありません～

2019年度に育休を取得

育休は多忙
「お手伝い気分」はNG
スマホを置け

→

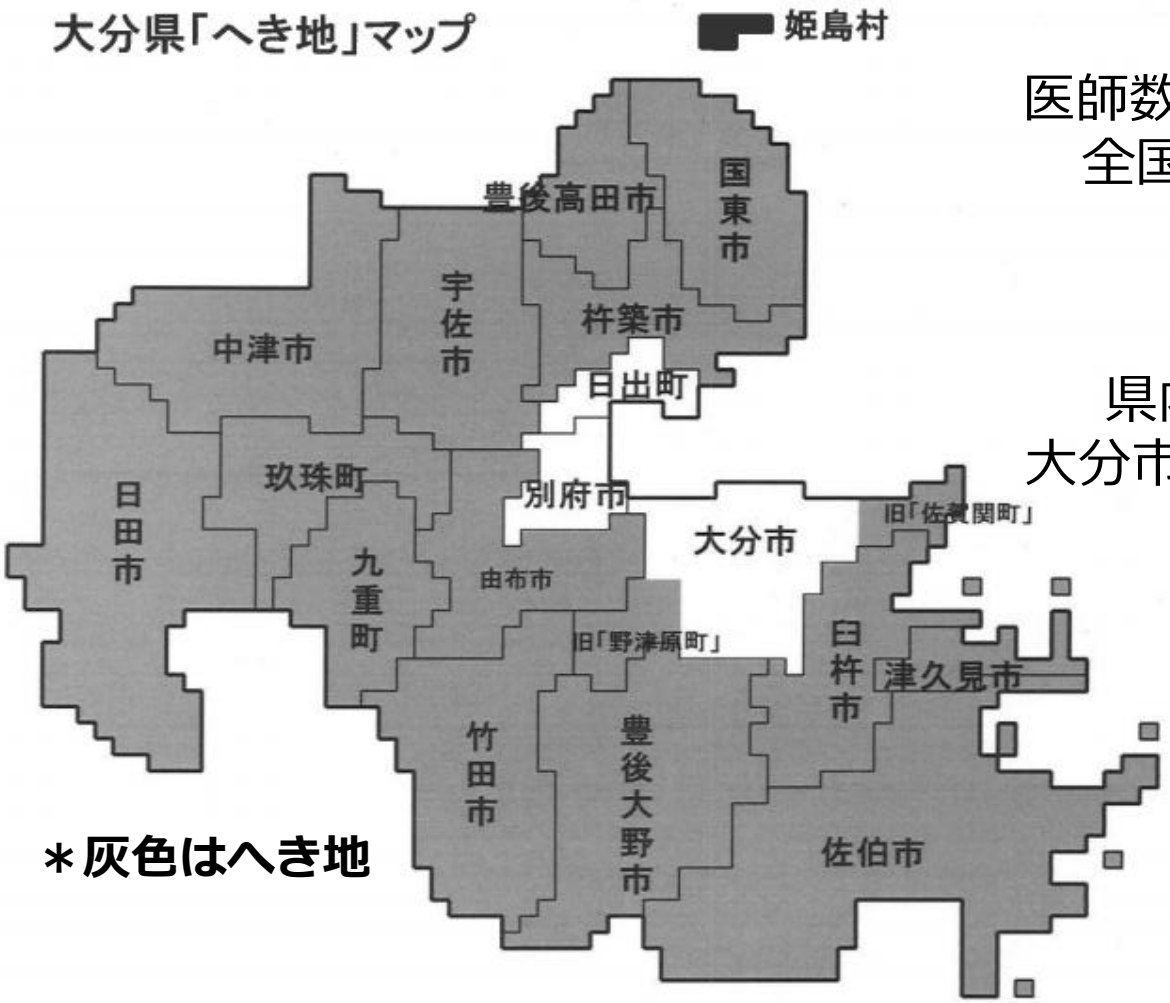
芽生える
家族への感謝
父親の自覚

- 育児休暇を取ってみて、よかった！と思ったことを教えてください。

玉井 ： 正直、育児休暇の「よかったところ」っていっぱいありすぎて、どれをお話したらいいのかわからないんですけど、一番よかったのは「本当の意味で子育て大変さがわかった」ところですね。

https://www.oita-ped.jp/real-voice/interview03.html

大分県の現状



＊灰色はへき地

第10次大分県へき地保健医療計画　より

地域格差の問題

医師数は、人口10万人当たり236人
全国平均212人を上回ります。

⬇しかし

県内で医師が偏在しており、
大分市・別府市に集中しています。

大分県内

『ほぼ』へき地？

大分県の現状

中津市民病院小児救急センター　夜間診療取りやめ

中津市は７日、市民病院の小児救急センターについて、今年４月から常駐の小児科医による夜間の診療を取りやめ、２４時間対応を縮小すると発表した。小児科医の確保が難しくなったため。新たに別組織の市立小児救急センターを設置し、平日午後１０時までと休日は近隣の小児科医や大学、病院勤務医の協力で初期救急に対応する。

現在のセンターは８人体制。市によると、このうち福岡大医局から派遣の７人が開業や女性医師の出産などが重なったことにより、２０１７年度から撤退することが決定した。
（平成29年）

大分合同新聞　（H28.2.23）

豊後大野市民病院

来月末で産科廃止

常勤担当医　後任確保できず

豊後大野市は22日、市が運営する豊後大野市民病院（同市緒方町）の産科を3月末で廃止する方針を明らかにした。担当の男性常勤産科医師(76)が高齢で緊急時の対応が難しくなり、後任の確保にめどが立たないため。昨年秋、出産の受け入れをやめていた。廃止後は豊後大野・竹田地域の産科は、豊後大野市三重町内の開業医1カ所となる。

同日あった市議会運営委員会で、市が3月定例会に上程予定の、産婦人科を婦人科に改編する市病院設置条例の一部改正案を説明した。

市民病院によると、現状では夜間や休日などの緊急対応が難しく、婦人科の非常勤医師の派遣を受ける大分大医学部に常勤産科医師の派遣を打診したが、見つからなかったという。

市民病院での出産は▽2013年度　25件▽14年度　16件▽15年度　9件―と減少。三重町や大分市などで出産しているとみられる。「いつ始まるか分からないお産には常勤産科医が必須だが、医師の確保に全くめどが立たない」（同病院）ため廃止の方針を固めた。婦人科は診療を続ける。

同日の定例会見で橋本祐輔市長は「休止の選択肢もあったが、全国的な産科医の減少などで見通しが立たない以上、診療科目を掲げ続けるのは無責任だと考えた。民間病院との情報交換

地域・へき地の医師は不足し、医師を確保できない場合もあり、診療体制の変更も起こっています。
ゆえに、**地域勤務する卒業生は貴重な戦力（Only 1です！）**

大分県の義務内医師が勤務する医療機関

- 県立病院
- 中核病院
- 診療所

医師数が少ない地域中核病院を中心に派遣されています。
県内唯一の離島診療所『姫島診療所』には、義務内医師を含む卒業生が3名、常勤しています。

自治医大科 卒業生の義務年限（大分県版）

国家試験合格

専門科の選択

地域勤務中は、
週1回の院外研修が可能

義務年限　9年間

初期研修（大分県立病院）	中核病院	後期研修	中核病院/診療所
2年間	2年間	2年間	3年間

大分では、
小児科、産婦人科、精神科で例外的に
勤務可能な場合がある

基本は、総合診療科

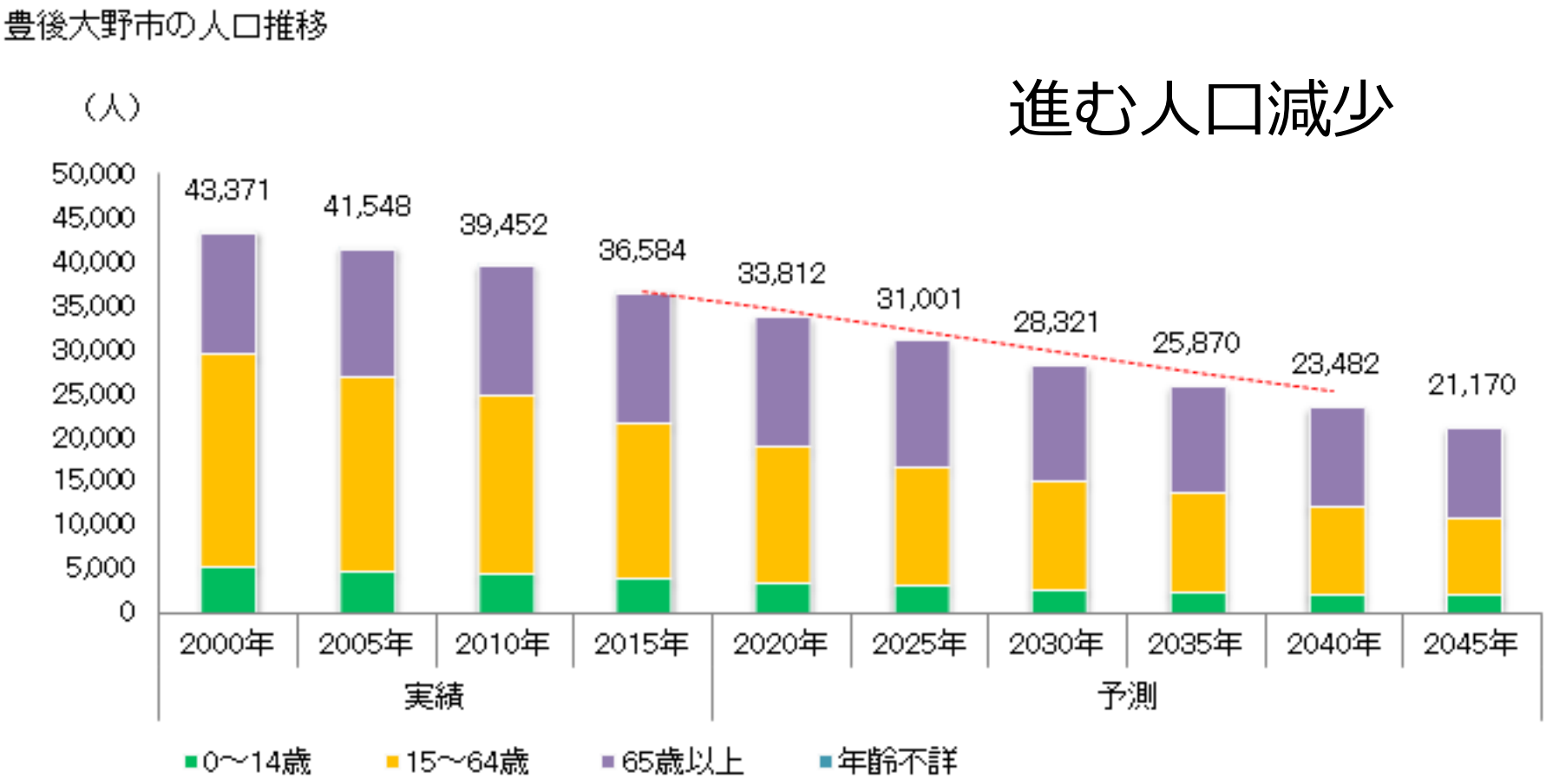
豊後大野市の紹介

自然豊かな地域

豊後大野市の紹介

キャンプ場も、たくさんあります

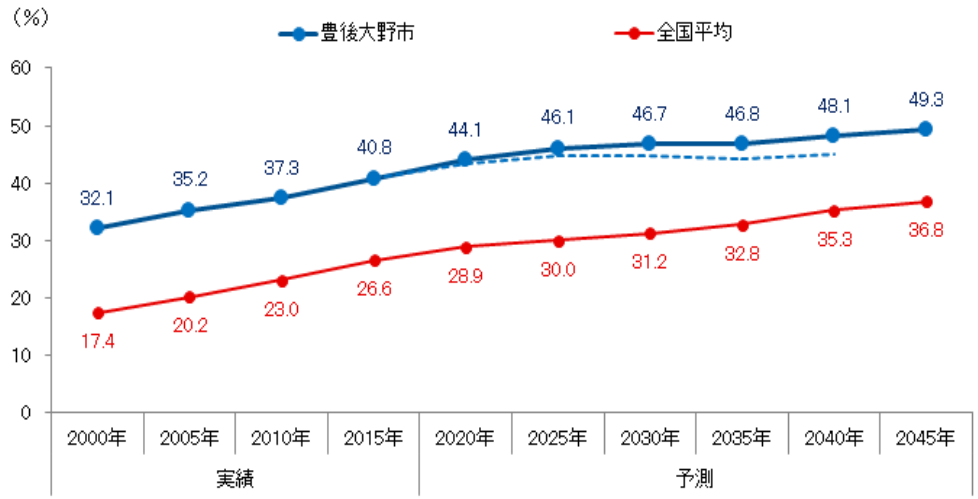
豊後大野市の人口



豊後大野市の人口は、2045年には、現在の半分（2万人）まで減少する

高齢化率と出生数

豊後大野市の高齢化率の推移

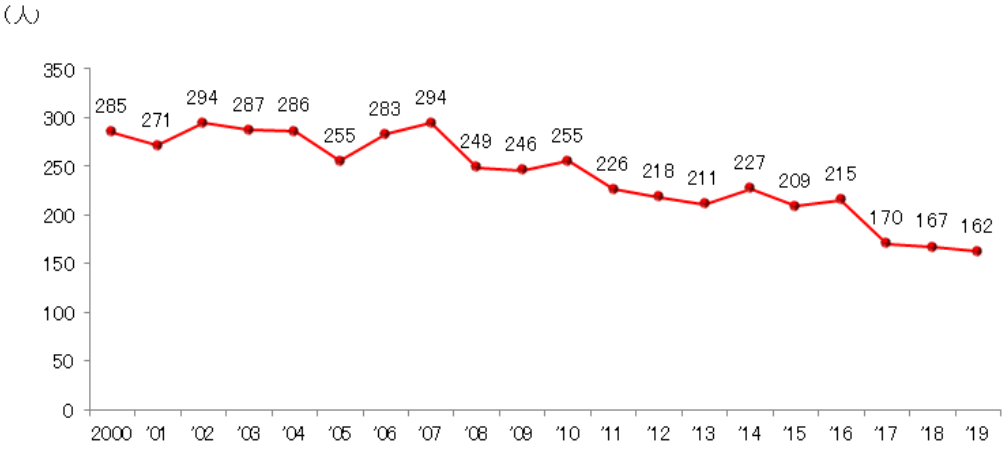


高齢化率

●豊後大野市の人口は減るのに
高齢化率は上昇を続ける

●2045年には、2人に1人が高齢者

豊後大野市の出生数の推移



出生数

●出生数は継続的に減少する

●2045年には、
現在の半分に減少する

進む高齢化と小児減少

現在の勤務地

豊後大野市民病院の紹介

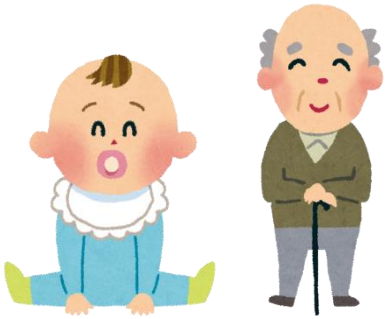
- 二次救急指定病院、へき地医療拠点病院
- 竹田・豊後大野市で唯一、
  コロナ患者の入院可能な病院
- 竹田・豊後大野市で唯一、
  小児患者の入院可能な病院

現在の勤務地

豊後大野市民病院の紹介

コロナ感染の
対応もします

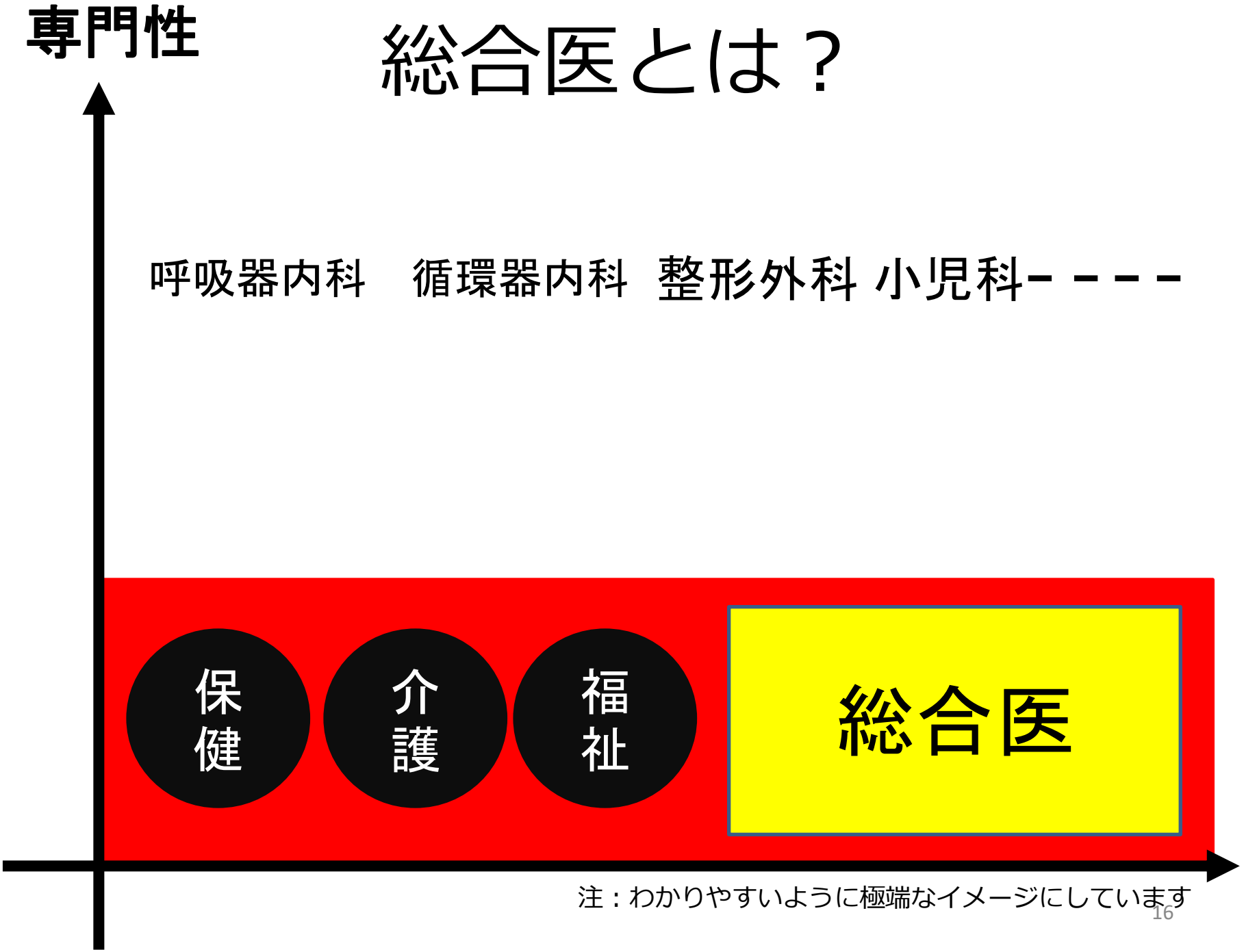
まむし、ムカデ、ダニ刺傷
など、多く来院されます



大人も子供も診ます

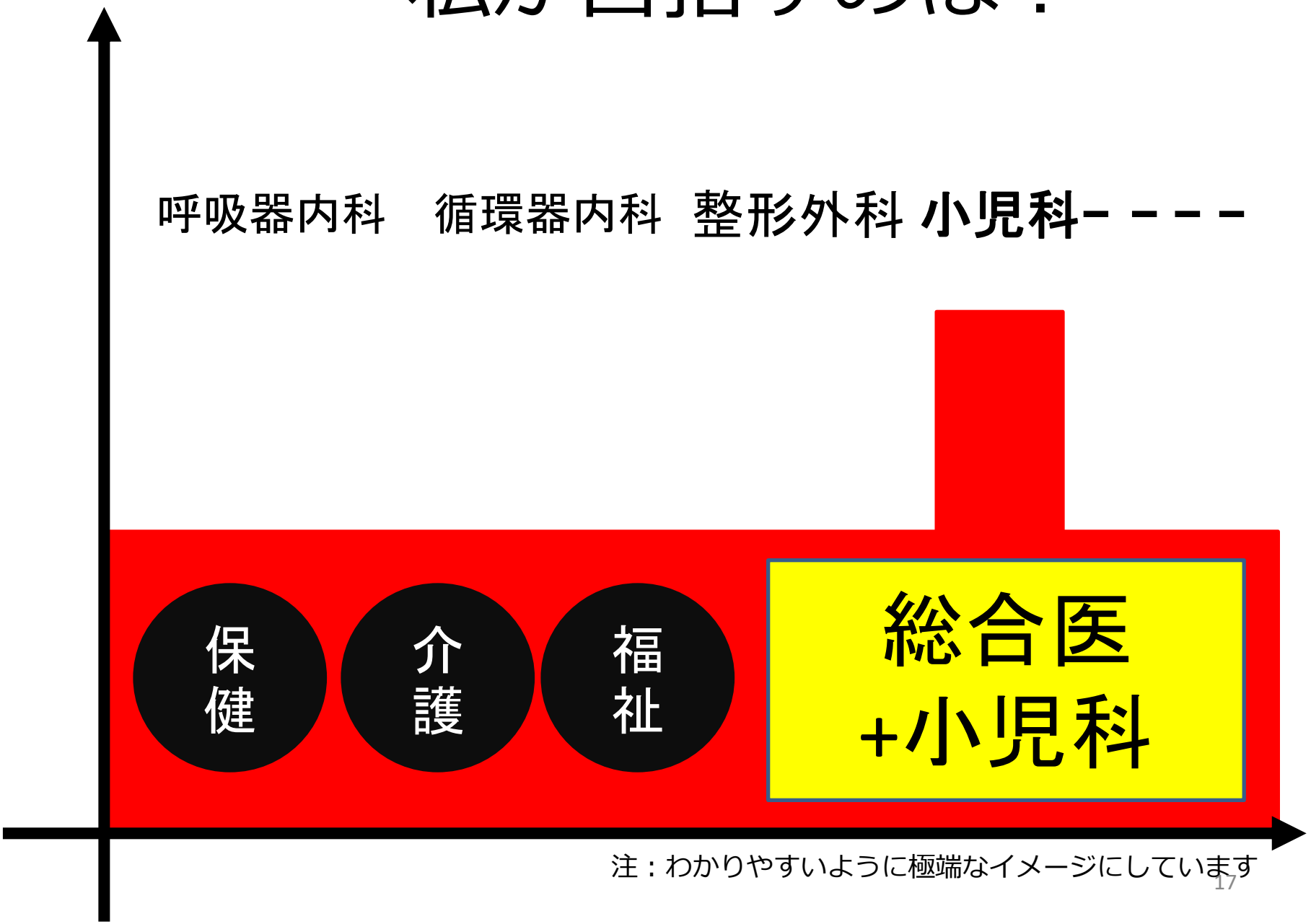
地域でも目標設定する

総合医とは？



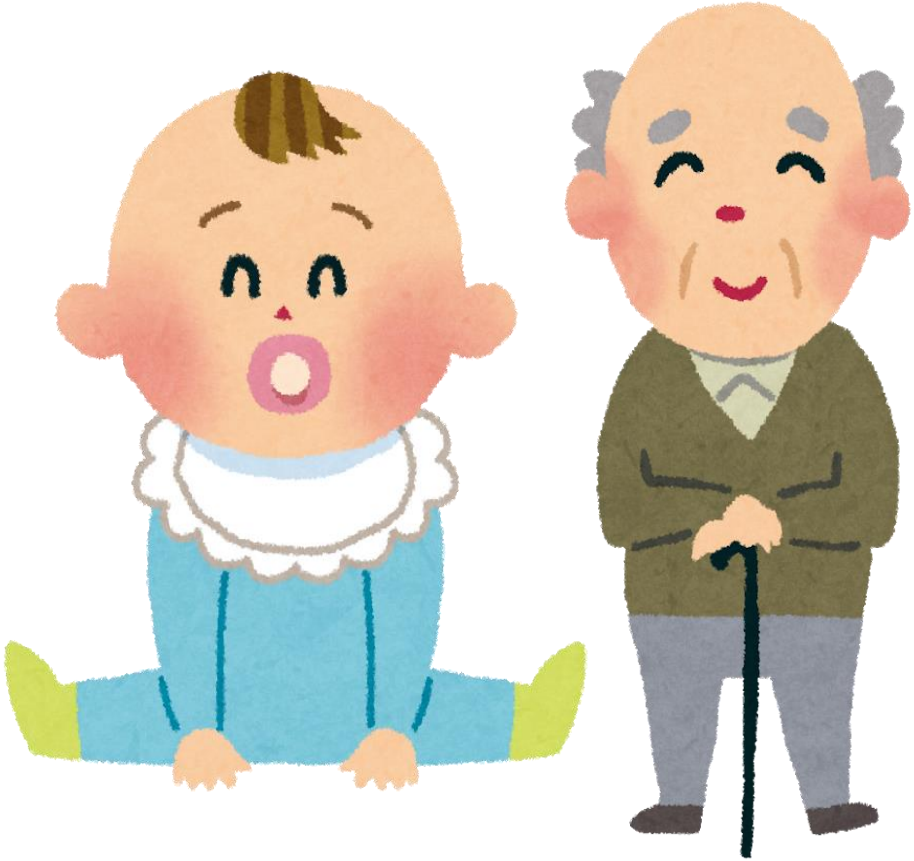
注：わかりやすいように極端なイメージにしています

私が目指すのは？



注：わかりやすいように極端なイメージにしています

生後0秒から
人生の最期まで診る



目標は
　揺り籠から墓場まで
　　診る医師です。

おわりに

学生の皆さまへ

卒業生1人ひとりが、地域医療における貴重な戦力です。
ゆえに、やりがいや責任感を持って地域で輝くことができます。

今は学生生活を目いっぱい楽しんで、人間力を磨いてください。
困難にぶつかったときは、自治医大の縦のつながりを頼ることも、1つの手です。

臨床現場で、皆さんとお会いできる日を楽しみに待っています。

教職員の皆さまへ

自治医大が掲げる総合診療の理念が、現在の私にも良い影響を与えてくれます。

『救急車を断らない』
『専門外でも力の限り診る』
『診れないなら他院受診の道筋を示す』など、これらの当たり前な事は、自治医大の在学中に体にしみ込んだ信念だと思います。
また、地域でも信念を持って目標に向かって進む姿勢も、自治医大の教育の賜物だと感じています。

御指導いただいた教職員の皆さまに、この場を借りて感謝申しあげます。